

① はじめのおいのり、または、さんび (なるべくみんなが知っているもの)

② 礼拝説教に関係した短いお話し ・マタイ26章36節～46節

いよいよ十字架にかかる前の夜、イエス様は、お祈りし始めました。しかし、イエス様の様子は、いつもとは全く違います。苦しみ、もだえながらお祈りされました。「天のお父様、もしできるのなら、十字架をさげさせて下さい。しかし、わたしの願いではなく、あなたの願いどおりに、なさってください。」

そのようにして、イエス様は、夜、何時間も、お祈りし続けました。そして、ついに、イエス様は、神様の願いに従っていく決心をされ、立ちあがりました。その時のイエス様は、お祈りを通して、何にも負けることのない、神様の愛と力に満ち溢れていました。

イエス様にとっても、人間の全ての罪の背負い、身代りとなって、神様の裁きを受けなければならない事は、できれば、したくない、とつても、とつても苦しい事でした。では、どうして、イエス様は、それでも十字架にかかれたのでしょうか。それは、私達の事を、何よりも愛していたからです。もし、イエス様が私達の罪の身代りにならなければ、罪赦されて、天国の祝福を受ける事が、誰も、できないからです。

自分には、悪い心がある事を素直に認めて、イエス様が、自分の罪の身代りになって、十字架で死なれ、そして3日目に復活された、救い主、神様だと信じるなら、誰でも、罪赦され、天国の祝福を受けて生きる事ができます。

私達は、イエス様を信じて、洗礼を受けましょう。

また、このイエス様の事を、お友達や、家族に伝えていきましょう。



③ 聖書の言葉を2回告白しよう。

かみ じつ ごと あた
神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、

よ あい み こ しん もの
世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして

ほろ えいえん も
滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。ヨハネ3の16

④ チャレンジしよう

だれ いえ すさま こと つた
あなたは、誰に、イエス様の事を伝えたいですか。

⑤ おいのりしよう

かみ わたし
神さま、私は、_____ さんに

イエスさまのことを、つた
伝えたいです。

イエスさまの なまえ いの
お名前によって、祈ります。アーメン。

